

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

基本理念

つながり、支え合い、 誰もが笑顔で元気に暮らすまち田布施

地域福祉とは、高齢者や子ども、障がいのある人もない人も、地域で暮らすすべての人が、住み慣れた地域で、自分らしく、笑顔で元気に暮らすことができるよう、住民自らが地域生活課題を発見し、その解決に取り組むとともに、地域で支え合い、助け合う関係や仕組みを築いていくことです。

本計画においては、本町の最上位計画である「第6次田布施町総合計画」の将来像である「笑顔と元気あふれる 住みよいまち田布施」を踏まえ、地域の人と人とのつながりを大切にして地域が支え合うことにより、誰もが自分らしく、笑顔で元気に暮らせるまちの実現を目指します。

2 基本目標

基本目標1 支え合う地域づくり

地域福祉を推進するためには、住民一人ひとりが、互いを認め合うとともに尊重し合い、人と人とのつながりを大切にするとともに、自分自身が地域の課題を解決するという自覚をもって、主体的に活動に取り組むことが重要です。

住民がふれあい、支え合う意識を育むためにも、「ふれあい」「交流」が必要であり、住民同士が交流を深めたり、活躍できたりする場所や機会づくりを推進します。

また、住民一人ひとりの地域福祉への理解を深め、地域の福祉課題・生活課題を解決するための行動を促すための啓発を行うとともに、学習機会の充実を図ります。

基本目標2 安心して生活できる地域づくり

すべての住民が、住み慣れた地域で安心して暮らすためには、支援を必要とする住民が、必要な福祉サービスを適切に受けることができる体制が必要です。

高齢者、障がいのある人、子ども、生活困窮者など、各福祉分野のサービスの充実を図るとともに、地域の見守り体制の強化を図ります。

さらに、住民が安心して生活できるよう、災害時避難行動要支援者の個別避難計画の整備を進め、地域の防災体制等の充実を図るとともに、ユニバーサルデザインやバリアフリーの推進により、誰もが暮らしやすく活動しやすい、人にやさしいまちづくりを推進します。

基本目標3 地域共生社会を実現する体制づくり

近年、社会的な孤立や制度の狭間など、サービスにつながらない課題や、高齢、障がい、子育て、生活困窮等の複合的な課題など、地域の生活課題は複合化・複雑化しているケースがあります。そのような課題に対応するため、庁内の関係部署が連携を図るとともに、地域の関係機関・団体等も含め、包括的な支援体制を整備することが重要です。

複合化・複雑化した地域生活課題に対応するため、包括的な支援体制づくりを推進するとともに、必要な福祉サービスが適切に提供されるよう、福祉サービスを必要とする住民の把握、権利擁護、情報提供の体制の充実強化を図ります。

3 計画の体系

住民、地域、町、町社会福祉協議会が一体となって「つながり、支え合い、誰もが笑顔で元気に暮らすまち」の実現を目指し、下記の体系に沿って地域福祉を推進します。

